

愛知スキー協通信 No.364

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2025年6月1日
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL.052-201-4801(Fax 共)

e-mail:aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集：スキークラブ直滑降

東海ブロックスキー協議会の総会を開催しました！

5月24日（土）、江南市のなかちゃんハウスにて東海ブロックスキー協議会の総会が行われました。参加者は全体で東海4県（愛知、岐阜、三重、静岡）より21名（対面18名、Zoom3名）でした。

体制については昨年の体制を基本的にはそのまま継続となり、ブロック長は佐藤実さん（岐阜）となりました。詳細については次月号をご覧ください。



クラブ代表者会議学習会のお知らせ！

6月22日（日）に開催されます新日本スポーツ連盟愛知県連盟のクラブ代表者会議にて代表者会議終了後に学習会を行います。

開催日 2025年6月22日（日）

会場 愛知民主会館（名古屋市中区葵1-22-26 2F）

講師 岡田 桂（けい）氏

立命館大学産業社会学部現代社会学科教授

定員 50名（Zoom参加定員 90名）

時間 15:30～16:50

（Zoom視聴開始 15:15～）

テーマ 「スポーツにおけるジェンダーについて」

○市民スポーツにおける男女格差（ジェンダー不平等）

○性的マイノリティについて

※どなたでも参加ができます。

※参加希望の方は、愛知スキー協のメールアドレスにご連絡ください。のちほど、ZoomのID及びパスコードをお知らせいたします。



立命館大学教授 岡田 桂氏

愛知スキー協会 第54回定期総会 7月6日（日）午後 労働会館

クラブ名	ぶなの木	直滑降	深雪	イエティ	個人
代議員数	7	3	4	2	1

大斜面を海に向かって滑ろう in 鳥海山

ぶなの木スキークラブ 日時：2025年5月5日(月) 参加者15名



今シーズンのGWはあまり天気が良くない。個人的には就職してから初めてのGWなのでいつもどんな感じかわからないが。

前日は全国スキー協の行事で祓川コース予定でしたが天気が悪く撤退。その後天気が回復し有志で少し遊んだようですが消化不良。本日はぶなの木SC単独で吹浦コースから鳥海湖まで行き滑降し、夕日を見ながら滑ろうという趣

旨でしたが季節柄日入りが遅く下山が遅くなるため海を見ながらすべろう！に変更し宿を7:30に出発。

吹浦口にはトイレが無いので銚立山荘の駐車場でトイレは済ます。大平登山口駐車場は満車にて大平山荘寄りの駐車スペースに駐車する。あまり良い登り口ではないが除雪壁に登った形跡ある所から取り付く。まあまあの斜度があるため板とストックはバケツリレーで上げる。こういうやりくりも含めBCなんですね。

天気はあまりよくなくガスガスで気温も3℃ほどで寒いが風がないだけよかった。最初からそこそこ急登なのですぐ暑くなる。ずっとガスガスですがひたすら大斜面をジグザグに登ります。急登が終わるとなだらかな斜面に出ます。そこからだだっ広く迷いやすいためか赤旗が御浜小屋まで立っていました。御浜小屋に着く頃には青空も見え始め歓声があがる。

体力差があり2パーティーになったので先行組は昼食後お先に小屋北の大斜面を滑る。ガスの切れ間を狙ってドロップ！！スキー場より滑りやすい最高の雪質。みなさん歓声を上げながら広大な斜面を滑り登り返しました。登り返すと後続組も来たので鳥海湖に向かってGO！鳥海湖も最高で何度も登り返したいぐらいでした(笑)。



まあまあの斜度が有りみなさん苦戦していました。アイスバーンの時は帰路は鳥海湖西のピークを巻くようにトラバースし登りのルートに復帰しましたがシールをつけて小屋まで登り返したほうが良さそうな気がします。そこを超えたら青空の海が見え絶景です。鳥海山山頂まで見えてきました。そこからは海に向かってそれぞれ好きなように滑る。あっという間に登山口に到着みなさん口々に良かったねえ〜と満足気でした。宿に戻り乾杯。部屋から日本海に沈む夕日も見れてよかった。大人数での企画、運営された方々に感謝申し上げます。(武田)

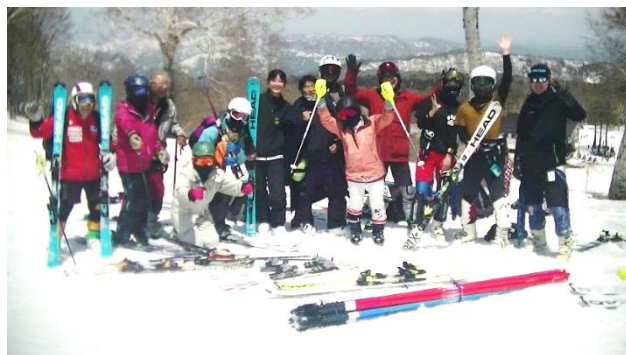
ゴールデンウィークポール合宿

ゴールデンウィーク合宿は、5月3日～5日まで野沢温泉小毛無コースで行いました。セッター講習会と同じゲレンデです。初めての宿でいろいろな改善点がありました。連絡がきちんとできませんでしたが、（野沢食事難民つまり外国人は宿で食事をとらず外で食べるので満員だったりして食事にありつけない）半泊の料金がとても高くなっている。朝食の時間は渋っていましたが何とか早くしてくれました。



参加者は深雪・ぶなの木（フリー・一部参加）の皆様の参加で宿も無理を聞いてくれました。ポールを行う人数にも協力していただきました。全体の参加者23人でした。ポール参加者は別宿からの参加もあり、3日16人4日17人5日14人でした。5日は静岡勢が帰り1名けがでキャンセル（兵庫の岸本さんで4日ポール練習中転倒、結果大したことにならなかったようです）で減りました。

3日GSで宿7時半出発ポール等運びリフト券購入 Gondola に並んでから乗車、降りてすぐそばがゲレンデで連絡リフト（小毛無専用）に乗り、ポールセット硫安巻き（しない人はフリーでの準備）インスペ（インスペクション＝コース&デラ（コース整備）、練習の流れで午前と午後と充実の練習をしました。



4日SLです。練習の流れは同様です。静岡が帰る、11時から下のGondola乗り場で「春の山菜天ぷら祭り」てんぷらの振る舞いがあるので12時に練習終了して下山。ほぼリフトを降りたらスタート位置ゴールしたリフト乗り場で練習効率が非常によく充分練習できます。てんぷらは長蛇の列でも頑張って並んで食べました。美味しかったです。そのあと昼食難民的でした。安利一行は「庄平そば」で待って食べることができました。



山菜天ぷらを頬張る参加者

5日もSLです。4日同様良い練習ができました。深雪・ぶなの参加で人数もよかったです。12時下山Gondola駅の側溝の間にポールを担いでいた藍雅がつまずき転倒。ポールをほかり、手と膝で着地した模様。顔面蒼白で気持ち悪くなりしばらく様子見。顔色もよくなり救急車も呼ばず、帰りに病院にも寄らず帰りました。頭、膝、背骨とCTやMRIを取りましたが大事ありませんでした。皆さんに迷惑をかけました。

文責 澤田安利

前日からの準備も万端—山菜採り & 天ぷら

深雪スキークラブ

5月18日(日) 参加者16名



天気も良くなり、採りたて山菜の天ぷらパーティー

実施の1週間ほど前から、天気予報が気になりはじめた。予報では、受け入れ準備の日も実施日も大雨。出発前日には「雨天決行」との連絡がLINEで入り、準備を了承した手前、気が重くなる。それでも気持ちを切り替え、両日ともずぶ濡れになっても大丈夫な装備を整えた。

朝7時、小雨の降る中、名古屋を出発して飛騨へ向かう。途中、飛騨街道の道の駅でたらの芽と

しいたけを購入。これが後に参加者から「Good Job!」と絶賛される判断となった。昼食をとるところには、雨脚が強まり山には霧がかかっていた。

別荘に到着し、しばらく休憩した後、目標150本のたけのこを目指して山に入る。雨の中、汗だくになりながらの収穫だったが、なんとか目標に近い量を確保し、無事別荘に戻る。その夜はたけのこの下ごしらえ。頭の中には自然と「労多くして腹満たされぬ」という言葉が浮かんでいた。

明け方、あまり準備のことは考えず、ぼんやりとウグイスの声(寝言かもしれないが)を聴きながら再び眠りにつく。次に目が覚めたのは7時。BBQセットの移動やおにぎりの準備に追われて大忙しの朝を迎える。参加者から集合場所に到着の連絡が入り、受け入れ準備がまだ整っていない状態で現地へ急行。

たらの芽の収穫では、トゲが刺さると痛そうだなと思いながら見学。その後、天ぷら用の藤の花の収穫へ。新緑の中に映える紫の花が美しく、甘い香りが漂っていた。

BBQの準備と調理は、まるで「うまいものを食べるための準備体操」。焼き上がった焼肉や鶏ちゃんに向かう参加者たちの食欲は凄まじく、周囲を気にせず全集中。

今回は、ほとんど何も知らない状態で準備に加わったため、どれだけ役に立てたかはわからない。経験豊富で口が悪く、わがまま(なのに自分たちは魅力的だと思い込んでいる)というクセ強めな集団が、目的のために力を合わせていく姿には、毎回なんだかんだで感心させられる。

最後に、この企画は別荘地の理事長の多大なご協力があってこそ実現できたもの。前日からの準備に始まり、山菜採りや天ぷらを心ゆくまで楽しめる環境を整えていただいたことに、この場を借りて心より感謝を申し上げたい。(鈴木)



コシアブラ採取完了